

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(男性, 10歳代)で, 型別はO157(VT1VT2)です。本年の累積報告数は2例となっています。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(男性, 80歳代)あり, 症状は発熱, 咳嗽, 肺炎です。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は水系感染です。レジオネラ肺炎は, 乳幼児や高齢者, 闘病中で抵抗力が低下している人が発病しやすく, 健康人でも疲労等で体力が落ちている時に発病することがあるため, 注意が必要です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(50歳代, 80歳代, 共に男性)あります。平成25年4月1日に五類感染症(全数把握感染症)に追加されて以降, 平成25年の累積報告数は15例, 平成26年 40例でした。本年の累積報告数は17例です。5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症しており, ワクチンによる予防が重要となります。

◆ 今週のトピックス: <手足口病>

手足口病の定点当たり報告数は1.00(40例)で, 前週 0.65(26例)に比べ増加し, 過去5年平均値を上回る状態が続いています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 10例】
- 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 17例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点67, 小児科定点40, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1.54	103
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.25	210
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.13	45
	③ 手足口病	1.00	40
	④ 突発性発しん	0.40	16
	⑤ 伝染性紅斑	0.28	11
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

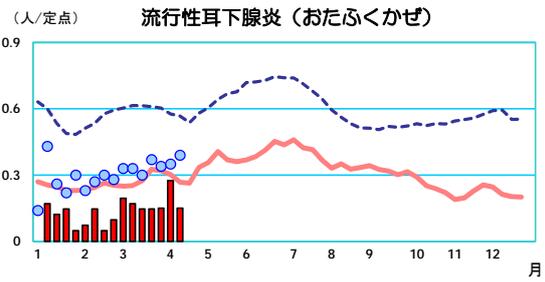
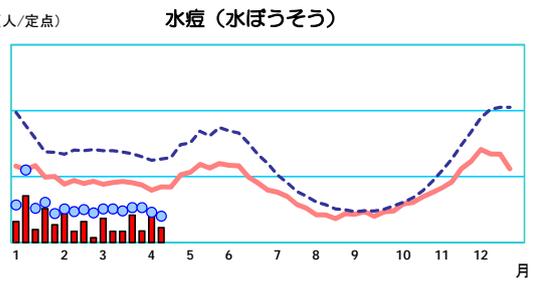
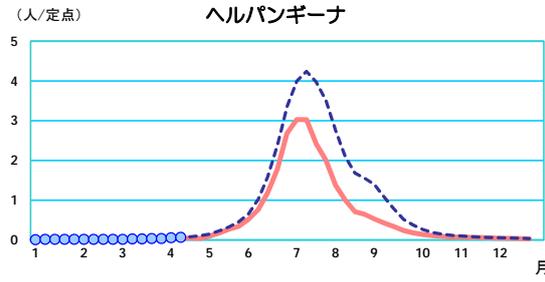
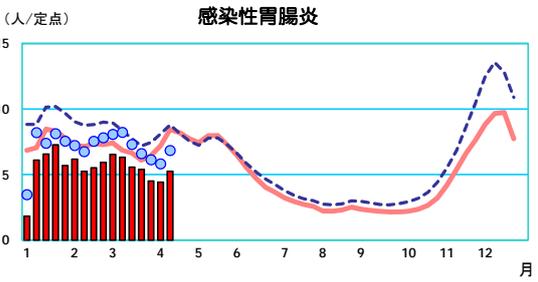
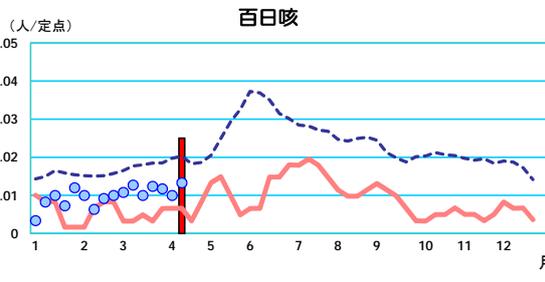
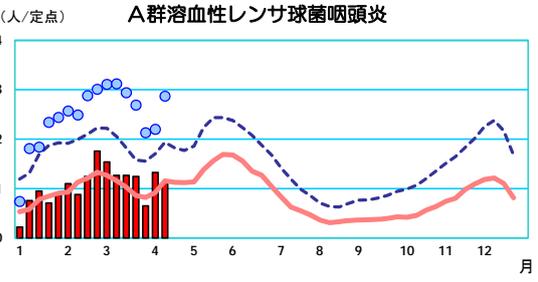
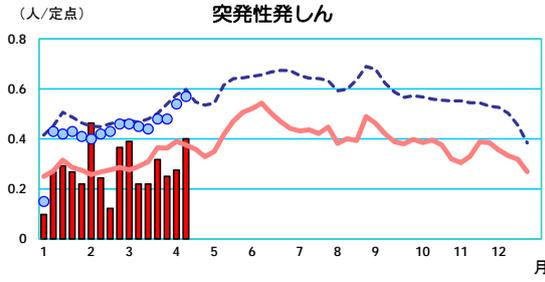
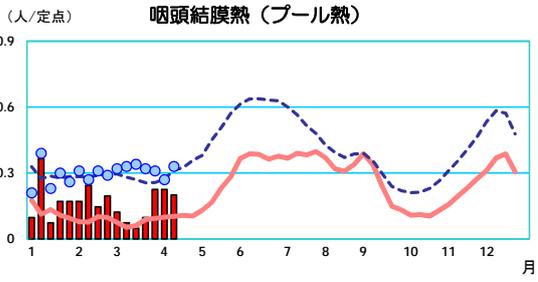
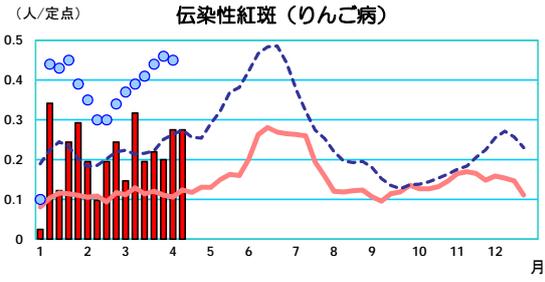
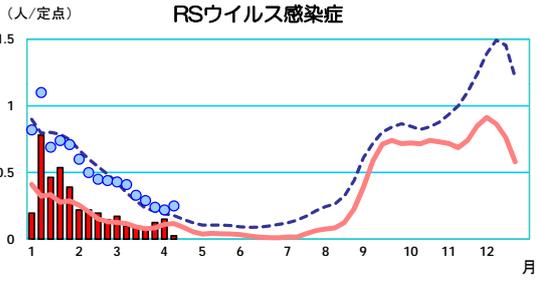
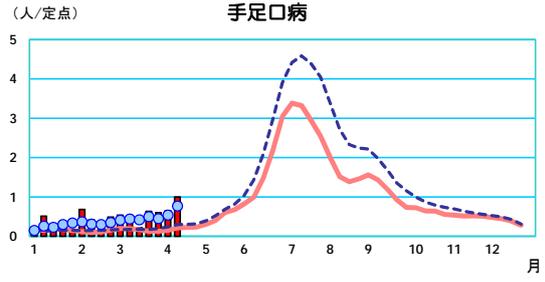
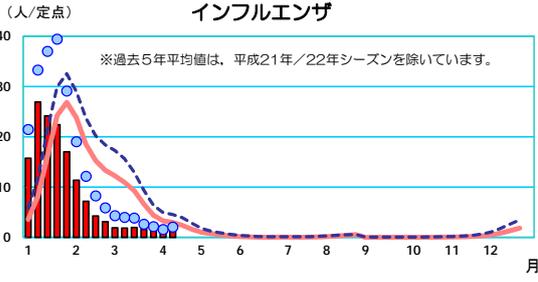
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <手足口病>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成27年4月23日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



第16週(4月13日～4月19日)トピックス: <手足口病>

京都市及び全国の発生動向

手足口病の定点当たり報告数は1.00(40例)で、前週 0.65(26例)に比べ増加し、過去5年平均値を上回る状態が続いています。さらに、過去5年間の同時期と比較して最も多い報告数となっています。都道府県別では、35都道府県で前週より増加しています。西日本での報告が多く、特に島根県(5.22)においては、警報基準値「5.0」を上回っています。

症状及び感染経路

本疾患は、ウイルスの感染によって起こり、手のひら、足の裏、口の中の粘膜などに水ぶくれができる感染症です。例年、子どもを中心に7月～8月に流行します。感染してから3～5日後に手足等に水ぶくれが出ます。主な感染経路は飛沫感染ですが、水ぶくれの内容物や便の中のウイルスが手を介して口や眼などの粘膜に入る経口及び接触感染もあります。特に、かかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設では注意が必要です。

予防

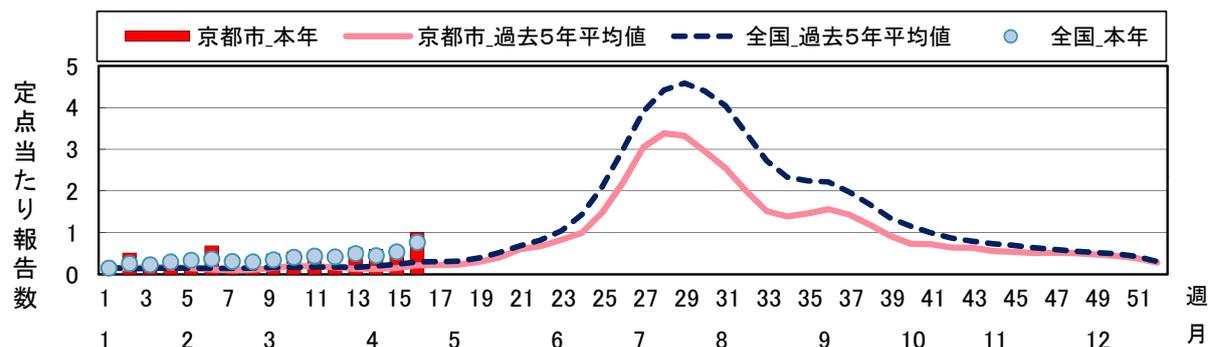
しっかりと手を洗うことや排泄物を適切に処理することです。手洗いは流水と石けんで十分に行ってください。また、保育施設ではタオルの共用を避けましょう。症状がおさまった後も、便の中にはウイルスが含まれますので(2～4週間)、トイレの後、オムツ交換の後及び食事の前にはしっかりと手洗いしましょう。

なお、適切な手洗い方法を京都市情報館「京都市こどもの感染症(平成27年4月号)」で紹介していますのでご覧ください。

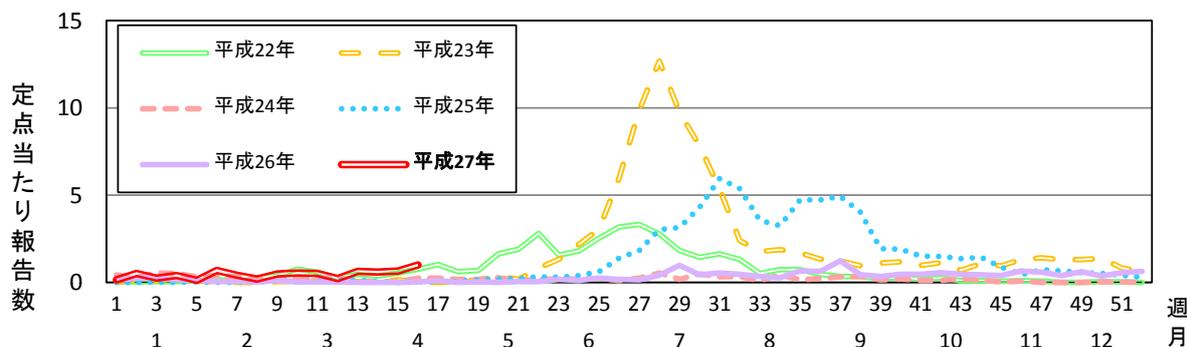
○京都市情報館ホームページ「京都市こどもの感染症」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

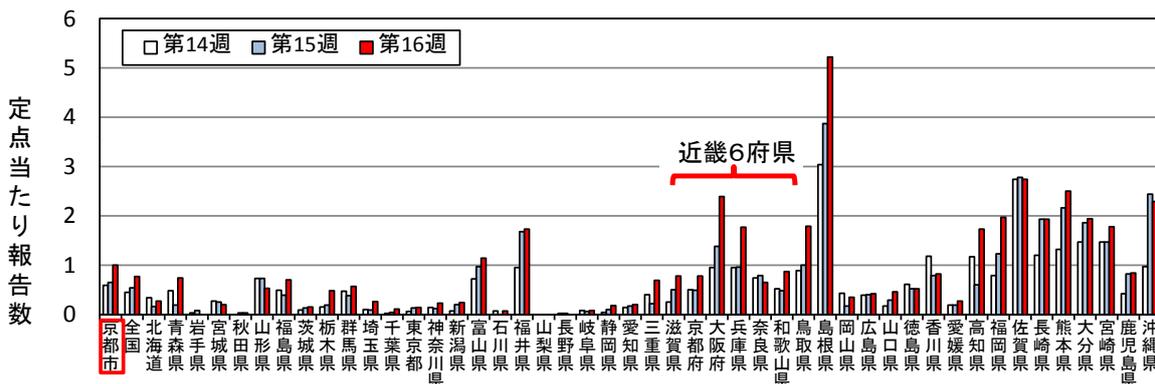
本市及び全国の定点当たり報告数の推移



京都市の過去5年間の流行状況



都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第16週

疾病,行政区別報告数

平成27年4月13日～平成27年4月19日

データ入手日:平成27年4月23日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	7	-	-	4	8	-	3	1	1	-	-	-	-	-						
上京	6	-	-	5	4	2	3	-	-	-	1	-	-	-						
左京	20	-	-	5	25	4	3	-	2	-	1	-	-	-						
中京	3	-	-	-	5	-	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3	-	-	-	19	1	1	-	-	-	-	1								
山科	8	-	3	1	12	-	4	-	2	-	-	-	-	-						
下京	2	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-								
南	15	-	1	4	21	-	-	3	3	-	2	1								
右京	7	-	2	7	34	-	4	3	2	-	-	2		5						
伏見	17	1	2	12	49	1	17	2	4	-	-	2		-						
西京	15	-	-	5	32	1	2	2	1	-	-	-		-						
京都市計	103	1	8	45	210	9	40	11	16	1	4	6		5	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	1.00	-	-	1.00	2.00	-	0.75	0.25	0.25	-	-	-	-	-						
上京	1.20	-	-	1.67	1.33	0.67	1.00	-	-	-	0.33	-	-	-						
左京	2.86	-	-	1.25	6.25	1.00	0.75	-	0.50	-	0.25	-	-	-						
中京	0.60	-	-	-	1.67	-	1.00	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1.00	-	-	-	9.50	0.50	0.50	-	-	-	-	0.50								
山科	1.14	-	0.75	0.25	3.00	-	1.00	-	0.50	-	-	-	-	-						
下京	0.67	-	-	1.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-								
南	3.00	-	0.33	1.33	7.00	-	-	1.00	1.00	-	0.67	0.33								
右京	0.88	-	0.40	1.40	6.80	-	0.80	0.60	0.40	-	-	0.40		5.00						
伏見	1.70	0.17	0.33	2.00	8.17	0.17	2.83	0.33	0.67	-	-	0.33		-						
西京	2.14	-	-	1.25	8.00	0.25	0.50	0.50	0.25	-	-	-		-						
京都市計	1.54	0.03	0.20	1.13	5.25	0.23	1.00	0.28	0.40	0.03	0.10	0.15		0.50	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第16週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年4月13日～平成27年4月19日

データ入手日:平成27年4月23日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	103	-	1	5	1	1	5	11	13	14	4	-	9	8	5	5	9	5	6	1	-
RSウイルス感染症	年齢3	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		8	-	-	1	-	2	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		45	-	-	1	4	7	6	6	5	6	2	1	4	1	2	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		210	1	15	35	22	20	21	14	7	10	11	8	14	4	28	-	-	-	-	-	-
水痘		9	-	-	1	1	3	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		40	-	3	19	6	5	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		11	-	-	-	-	2	5	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		16	-	6	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		6	-	-	1	-	-	2	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	1	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1.54	-	0.01	0.07	0.01	0.01	0.07	0.16	0.19	0.21	0.06	-	0.13	0.12	0.07	0.07	0.13	0.07	0.09	0.01	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.03	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.20	-	-	0.03	-	0.05	0.05	-	0.05	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.13	-	-	0.03	0.10	0.18	0.15	0.15	0.13	0.15	0.05	0.03	0.10	0.03	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.25	0.03	0.38	0.88	0.55	0.50	0.53	0.35	0.18	0.25	0.28	0.20	0.35	0.10	0.70	-	-	-	-	-	-
水痘		0.23	-	-	0.03	0.03	0.08	0.03	0.05	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1.00	-	0.08	0.48	0.15	0.13	0.13	0.03	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.28	-	-	-	-	0.05	0.13	0.03	-	0.05	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.40	-	0.15	0.18	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.10	-	-	-	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.15	-	-	0.03	-	-	0.05	0.05	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.30	-	-	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第16週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年4月23日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	126	135	108	87	71	103
RSウイルス感染症	4	4	3	5	6	1
咽頭結膜熱	3	2	4	9	9	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	52	51	26	53	45
感染性胃腸炎	259	228	221	180	177	210
水痘	7	7	17	7	18	9
手足口病	21	9	26	24	26	40
伝染性紅斑	13	8	9	8	11	11
突発性発しん	9	9	13	10	11	16
百日咳	-	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	2	4
流行性耳下腺炎	7	6	6	6	11	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	1	1	5	2	5
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	505	461	459	367	397	459

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	1.85	1.99	1.59	1.30	1.06	1.54
RSウイルス感染症	0.10	0.10	0.07	0.13	0.15	0.03
咽頭結膜熱	0.07	0.05	0.10	0.23	0.23	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.27	1.27	1.24	0.65	1.33	1.13
感染性胃腸炎	6.32	5.56	5.39	4.50	4.43	5.25
水痘	0.17	0.17	0.41	0.18	0.45	0.23
手足口病	0.51	0.22	0.63	0.60	0.65	1.00
伝染性紅斑	0.32	0.20	0.22	0.20	0.28	0.28
突発性発しん	0.22	0.22	0.32	0.25	0.28	0.40
百日咳	-	-	-	-	-	0.03
ヘルパンギーナ	0.02	-	-	-	0.05	0.10
流行性耳下腺炎	0.17	0.15	0.15	0.15	0.28	0.15
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	0.10	0.10	0.50	0.20	0.50
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	11.32	10.01	10.22	8.67	9.36	10.81

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。